



## 重点施策

## 地域医療を支える医療従事者の育成・確保

自治医科大学や岡山・広島大学医学部の地域枠による医師確保に加え、大学に設置した寄付講座などを通じて、総合的な診療能力を有する医師の確保・育成を図ります。

また、市町村と連携し、医師が地域医療に魅力を感じられる環境づくりを行い、医師の地域偏在の解消を図るほか、看護師等の安定的・計画的な確保と資質の向上に取り組みます。

## 地域包括ケアの推進等

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。

また、県民が人生の最終段階まで自分らしく生きられるよう、リビングウィル<sup>\*76</sup>などを活用し、受けたい医療について考え、家族や関係者と十分な話し合いが行える環境づくりに努めます。

## 心と体の健康づくりの推進

県民が、がん、糖尿病、脳血管疾患等の生活習慣病を予防するとともに、心の健康を保持して地域で元気に暮らせるよう、幅広く関係機関・団体と連携し、自殺予防や喫煙による健康被害の防止をはじめ、心と体の健康づくりに向けた普及啓発や環境整備を進め、健康寿命の延伸を図ります。

## 福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上

福祉・介護サービスを担う人材を将来にわたり安定的に確保するため、福祉人材センターによる就労の斡旋をはじめ、関係機関・団体と連携して多様な人材の参入と職場への定着、離職者の再就職を促進します。

また、質の高いサービスの提供に向けて、専門性の高い介護人材の養成や福祉サービスに対する第三者評価の導入を促進します。

## 障害のある人の自立と社会参加の促進

障害のある人が地域で安心して暮らし、その自立と社会参加が促進されるよう、障害のある人の就労支援をはじめ、障害者差別解消法を踏まえた「心」「情報」「物」の3つのバリアフリー運動や障害福祉サービス基盤の整備、障害者アート・スポーツの振興等を通じて、誰もが生き生きと輝く共生社会の実現を目指します。

## 発達障害のある人のトータルライフ支援の推進

発達障害のある人が、周囲の正しい理解と特性に応じた適切な支援により、社会で自立した生活を送ることができるよう、市町村や保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関・団体と連携して、家族も含めた幅広い支援策や、対応力を備えた人材の育成などを計画的に進め、乳幼児期から成人期までの一貫した支援体制の整備を図ります。

## 1 保健・医療・福祉充実プログラム

## 概要

超高齢社会に対応するため、地域医療構想を策定し、医療の機能分化や医療・介護の連携に取り組むとともに、市町村の地域包括ケアシステム構築や健康増進活動への支援、障害特性に応じた支援体制の確立などに取り組んでいます。

人口減少と高齢化が同時に進行する中であっても、社会経済の活力を維持し、医療、介護などの社会保障制度を安定的に継続させていく必要があります。

このため、医療・福祉施設の整備や、医療・介護人材の育成・確保、県民をはじめボランティア、NPO、関係機関などと連携した、地域における支え合いの仕組みづくりなどを通じ、サービス提供体制の整備を進めるほか、食生活等の生活習慣の改善指導などに取り組み、県民誰もが良質な保健・医療・福祉サービスが受けられ、住み慣れた地域で安心して自立し暮らせる社会の実現を目指します。



## 生き生き指標

○ <b>県北の保健医療圏における医師数</b> 高梁・新見、真庭、津山・英田圏域の病院の医師数	388人▶	400人
○ <b>人生の最終段階で受けたい医療について家族と話し合ったことがある県民(60歳以上)の割合</b>	46.7%▶	70.0%
○ <b>成人の喫煙率</b>	16.1%▶	13.1%
○ <b>自殺死亡者数(人口10万人当たりの人数)</b>	18.0人▶	14.4人
○ <b>福祉人材センターが関わった介護施設等への就職者数</b> 福祉人材センターによる職業紹介、面談会等を通じ、福祉・介護の職場に就職した人の数	122人/年▶	570人(4年間累計)
○ <b>障害福祉サービス利用者の一般就労への移行者数</b> 福祉事業所の就労支援により「企業で働きたい」という夢を実現した、障害のある人の数	124人/年▶	800人(4年間累計)
○ <b>発達障害について身近に相談できるかかりつけ医の数</b> 県実施の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」を受講した医師数		150人

\*印の内容についてはP77～P82の「用語集」をご覧ください。

## 推進施策

### 感染症対策の推進

新型インフルエンザをはじめとした感染症について、発生及びまん延を防止する事前対応に重点を置いた対策を推進するとともに、発生時には関係機関との連携により迅速で適切な対応を図ります。

### 地域における医療提供体制の整備

医療ネットワーク岡山\*77(晴れやかネット)や地域連携クリティカルパス\*78などを活用しながら、質の高い医療を地域の実情に応じて効率よく提供する体制の構築を目指して関係者の理解を得ながら、医療機関の機能分化と連携を推進します。

また、県民が医療機関を適切に選択できるよう、ウェブサイトで医療機関を検索できる「おかやま医療情報ネット」の普及を図ります。

### 療養生活の質の向上

がん患者や難病のある人たちとその家族の療養生活の質を維持・向上させ、できる限り住み慣れた家庭や地域で自立して暮らせるよう、療養生活や就労等の相談支援、患者向けの情報提供、患者団体の活動への支援などの充実に努めます。

### 認知症対策の推進

認知症の早期診断・早期対応や正しい理解を深めるための普及啓発を推進するとともに、医療・介護従事者の対応力の向上を図るほか、認知症コールセンターの運営や、家族交流会の開催などにより、認知症の人とその家族の支援に努めます。

### 社会全体で支え合う仕組みの構築

高齢者や障害のある人などの地域生活への移行や見守りの支援のほか、献血や臓器提供など、関係機関・団体と連携し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、社会全体での支え合いについて、普及啓発や気運の醸成、各種取組への支援等に努めます。

関係部局

保健福祉部

